

櫻坂を緩歩中

公立高校(一般入試)の第2志望と第3志望

公立高校の一般入試では、「入学願書」に第1志望の他、第2志望や第3志望を記入できる高校があります。その際の第2志望と第3志望の選抜方法の違いについて記します。

公立高校の入学者選抜に関するルールブックとして「道立高等学校入学者選抜の手引」というものがあり、北海道教育委員会のHPで誰でも閲覧できるようになっております。

この手引のP23「入学者の選抜」の中に次の記述があります。

エ 出願学科について、第1志望のほか第2志望があるときは、できるだけ第1志望を優先して、選抜を行うこと。

オ 第3志望については、当該学科の合格者が募集人員に達しない場合に入学者選抜の対象とし、当該学科へ入学させるよう配慮すること。

オの「当該学科の合格者が募集人員に達しない場合」とは、いわゆる「定員割れ」のことです。

つまり、第3志望は、その学科が定員割れした場合にのみ、合格するチャンスがあります。

一方、第2志望は、できるだけ第1志望が優先されて選抜はされますが、定員割れをしていなくても合格となるチャンスはあるのです。

そのため、例年、第2志望で合格する生徒は何人かいますが、第3志望で合格する生徒は滅多にいません。

札幌大通高校につきましても「札幌市立高等学校入学者選抜の手引」に次の記述があり、道立高校と同様とお考えください。

P20 自己推薦入学者選抜

出願できる部は、一の部に限るものとするが、第2志望及び第3志望を認める。

留意事項 第3志望については、当該部の合格内定者が募集人員に達しない場合に入学者選抜の対象となる。

P30 一般入学者選抜

留意事項1 前期において、第1志望のほか第2志望があるときは、できるだけ第1志望の部を優先して、選抜を行うこと。

留意事項2 前期において、第3志望がある場合には、当該の部の合格者が募集人員に達しない場合に入学者選抜の対象とし、当該の部へ入学させるよう配慮すること。

重要

- ① 札幌大通高校の自己推薦入試では、第3志望で合格するケースが結構あります。（第3志望を夜間部とした場合に多くみられます。）その場合、入学を辞退して、再出願で一般入試を受検することができなくなりますので要注意です。
- ② 札幌平岸高校において、第2志望をデザインアートコースとした場合、たとえ第2志望であっても実技試験が課せられます。ご注意ください。
- ③ 第3志望は以前は「第1志望及び第2志望の学科以外の学科への入学の希望（通称『1・2外希望』）」とよばれていたものです。
小生、30年以上教員生活を送っておりますが、札幌大通高校をのぞいて、「1・2外希望」や「第3志望」で合格した生徒と出会ったことがありません。
3学科以上設置されている高校において、ある特定の学科だけ定員割れしているようなケースでしか第3志望での合格は期待できません。
- ④ 第2志望で合格した場合も合格であることに違いはないため、第1志望の学科に追加合格の連絡がくることはありません。
過去に追加合格者を出した高校で、第2志望で合格しているために追加合格がこなかったという生徒がいました。



具体的には下記の通りです。

AさんとBさんは、ある高校の建築科を受検しました。Aさんは第2志望を土木科とし、Bさんは第2志望を「なし」としました。
結果は、Aさんは第2志望の土木科で合格し、Bさんは不合格でした。
しかし、翌日、Bさんに建築科での追加合格の連絡がありました。（Aさんは土木科に合格していることから追加合格の連絡がくることはありません。）
ちなみに、AさんはBさんよりも入試得点、学習点（ランク）ともに高得点でした。Aさんも第2志望を「なし」としていれば、追加合格の連絡がきたはずです。

上記の事例は結果論の要素も多いですが、第2志望、第3志望の選択に関しましては、慎重に考えWeb入力してください。

@coffee break 野球における始球式での空振り

野球では、試合前に始球式を行うことがあります。

始球式ではバッターは空振りするのが通常です。（時々、真剣勝負をやったり、バッターが打ってしまう始球式もありますが…）

どうして、始球式でバッターは空振りするのでしょうか。

日本で初めての始球式（早稲田大学 v s 大リーグ選抜）で投球を行うこととなった方は、政治家で早稲田大学の創設者でもある大隈重信氏で、打者は早稲田大学の学生でした。

大隈氏が投球したところ、ストライクゾーンを大きくはずれる球（たま）となりました。

打者である早稲田大学の学生は見逃すと「ボール」となり、大隈氏に恥をかかせてしまうと考え、機転をきかせてわざとに空振りをしたそうです。この時の始球式が現在に続いているのです。

なお、大隈氏が始球式を行った当時、アメリカでの始球式は、打者のいないグラウンドに客席からボールを投げ入れるのが一般的だったそうです。